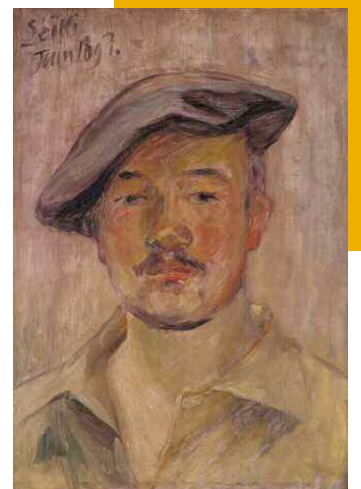


競光《自画像》1944年 東京国立近代美術館蔵

# 白画像展

「ひとみの中に自分がいる」

五姓田義松  
 長原孝太郎  
 黒田清輝  
 岡田三郎助  
 鈴木不知  
 青木 繁  
 武者小路実篤  
 横井礼以  
 小出栖重  
 加藤静児  
 安井曾太郎  
 梅原龍三郎  
 鶴田吾郎  
 岸田劉生  
 木村莊八  
 兒島善三郎  
 大澤鉦一郎  
 原田京平  
 河野通勢  
 村山槐多  
 前田寛治  
 東郷青児  
 佐伯祐三  
 佐分 真昇  
 渡辺 伊藤 廉  
 鬼頭鍋三郎  
 和達知男  
 荻須高德  
 藤井外喜雄  
 甲斐仁代  
 島海青児  
 宮脇 晴  
 仲田好江  
 松下春雄  
 三岸好太郎  
 森田 勝  
 三岸節子  
 吉原治良  
 市野長之介  
 矢橋六郎  
 久保 守  
 杉本健吉  
 佐藤 敬  
 巖 光  
 山本日子士良  
 大野五郎  
 松本竣介  
 赤星 孝  
 寺田政明  
 白木正一  
 麻生三郎  
 赤星信子  
 野見山暁治  
 中村正義  
 鴨居 玲  
 岸田裕子  
 絹谷幸二



黒田清輝《白画像(ベレー帽)》1897年 久米美術館蔵

## 2021年1月30日(土)~3月14日(日)

開館時間:午前9時~午後5時(ただし、入館は午後4時30分まで)

休館日:毎週月曜日【ただし、2月12日(金)・24日(水)は休館】

会場:一宮市三岸節子記念美術館

観覧料:一般/1,000円/高校・大学生 500円/中学生以下無料

\*コレクション展(三岸節子常設展示室)観覧料を含みます。

\*20名以上の団体は2割引

\*一宮市内の満65歳以上で住所・年齢の確認できる公的機関発行の証明書等を提示された方、および身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳を持参の方(付添人1人を含む)は無料

主催:一宮市三岸節子記念美術館

一宮市三岸節子記念美術館

〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南3147-1  
Tel:0586-63-2892 Fax:0586-63-2893

ICHINOMIYA CITY  
MEMORIAL ART MUSEUM  
OF SETSUKO MIGINISHI

一宮市  
三岸節子  
記念美術館

<http://s-migishi.com>

# 自画像展

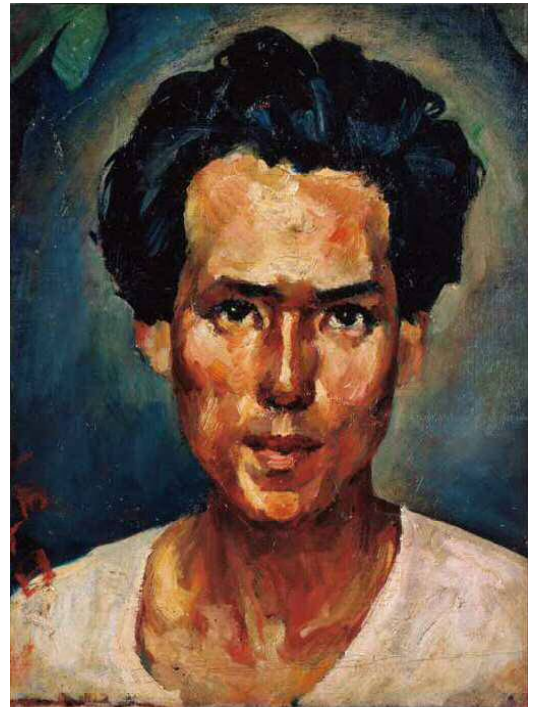
～ひとみの中に**自分**がいる～

三岸節子にとっての画壇へのデビュー作のは20歳の『自画像』。1925（大正14）年の春陽会第3回展で初入選した1枚です。自らを写し取り、そこには当時の自らの強い意志が込められています。この後、70年余の節子の画家としての原点となった作品です。

自画像は、制作者が自らに向かい合い、鏡の中の自分とキャンパスの上の自分が行き交い、自己の心境を主観的にとらえ、描くという格闘をした結果であり、個々の画家のその時々が表現されています。

この展覧会では作家たちの若き日の自画像を中心に展示します。三岸節子に影響を与えたり、若き日からさまざまな時期にかかわりを持った画家たちを中心に、明治期から現代に至るまでの自画像を展示します。それぞれの時代における表現法のみならず、それぞれの画家たちが絵画に向けている“おもい”、“決意”を59点の作品から見ていただきます。

- ① 佐伯祐三《自画像》1917年 三重県立美術館蔵
- ② 絹谷幸二《自画像》1966年 個人蔵
- ③ 甲斐仁代《自画像》1923年 東京国立近代美術館蔵
- ④ 宮脇 晴《自画像》1920年 愛知県美術館蔵
- ⑤ 松本竣介《自画像》1941年 神奈川県立近代美術館 撮影：上野則宏



①



②



③



④



⑤

## 会期中イベント

### ■関連展示

愛知県立起工業高校デザイン科生徒制作の自画像作品を展示（約120点）

### ■講演会

テーマ「自画像と肖像画」

日時：2月20日（土）午後2時～（開場 午後1時30分）  
 講師：熊澤 弘（東京藝術大学大学院美術学教授）  
 会場：一宮市三岸節子記念美術館 講義室  
 参加費：無料 定員：60名  
 申込み：不要。当日直接会場。

### ■学芸員によるギャラリートーク

日時：2月7日（日）、2月28日（日）、各日 午後2時～  
 参加費：無料（要観覧券）  
 申込み：不要。当日直接会場。

### ■ワークショップ

「描いてみよう！自画像」

展示作品を鑑賞したあと、自分を描いてみましょう。

講師：絹谷 幸二（東京藝術大学名誉教授）  
 日時：2月27日（土）午後1時30分～3時  
 会場：一宮市三岸節子記念美術館 講義室  
 対象：小学生  
 定員：18名（抽選）  
 参加費：無料  
 申込み：1月31日（日）までに美術館へ電話かメール、ハガキで申込み。  
 参加者名（ふりがな）・学年・保護者名・郵便番号・住所を記入し「描いてみよう！自画像」と明記の上三岸節子記念美術館（〒494-0007 愛知県一宮市小信中島宇郷南3147-1 TEL 0586-63-2892 メール migishi@city.ichinomiya.lg.jp）まで。

## 同時開催

### ■コレクション展（常設展）

「三岸節子の言葉とともに」

率直な語り口で、名随筆家としても知られる三岸節子。エッセイやインタビュー等で語られた言葉とともに、絵画作品を紹介します。（特集展示「女人短歌」表紙絵原画）  
 会期：開催中～4月11日（日）

### ■ミュージアムコンサート

HAIKAI《展覧会の人》

ナメクジのように、ゆっくり、ゆっくり、展覧会場を浮遊する。画家が絵に注いだ熱量を全身で受け止め全身で吐き出す・・・呼吸のように・・・「創る力」と「観る力」が溶け合う至福な瞬間。「HAIKAI」とは俳諧と俳句の掛詞である。今日はどんな利那が起るやら楽しみである。

日時：2月14日（日）午後2時～  
 会場：常設展示室  
 出演：原智彦（ハラブプロジェクト代表）コントラバス／伊藤玉木  
 観覧料：無料（ただし企画展「自画像展」観覧券または常設展示年間観覧券（常設展示年間パスポート）が必要）  
 定員：40名（先着、要整理券）  
 受付：当日午後1時より整理券を配布  
 ※当日午後2時～2時30分は整理券をお持ちの方のみ常設展示室に入場可

新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、予告なく中止・変更となる場合があります。

**一宮市三岸節子記念美術館**  
 〒494-0007 愛知県一宮市小信中島宇郷南3147-1  
 メールアドレス migishi@city.ichinomiya.lg.jp <http://s-migishi.com>  
 @s.migishi.museum @s.migishi.museum @s\_migishi\_muse

【交通案内／公共交通機関をご利用の場合】名古屋駅より電車とバスで約40分  
 ●JR東海道本線（名古屋駅⑤⑥番）にて「尾張一宮駅」下車、または名鉄名古屋本線にて「名鉄一宮駅」下車（JR新快速・名鉄特急で10～15分）、一宮駅西口の名鉄バスターミナル②番のりばから「起（おこし）」行きで約15分、「起工高・三岸美術館前」バス停下車、徒歩1分。【バスは約15分間隔で運行】 ●岐阜羽島駅（東海道新幹線）よりタクシーで約20分

